

なるほど！  
こうやって進むのね。



# お申し込みから 実証事業スタートまでの流れ

2022年 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2023年 1月 2月 3月

1  
実証事業の  
お申し込み  
／補助金

実証事業参加のお申し込み\*1

補助金入金\*2

2  
購入・工事

機器の購入・設置工事  
※交付決定後、機器購入契約

3  
実証事業  
実施

実証事業実施期間

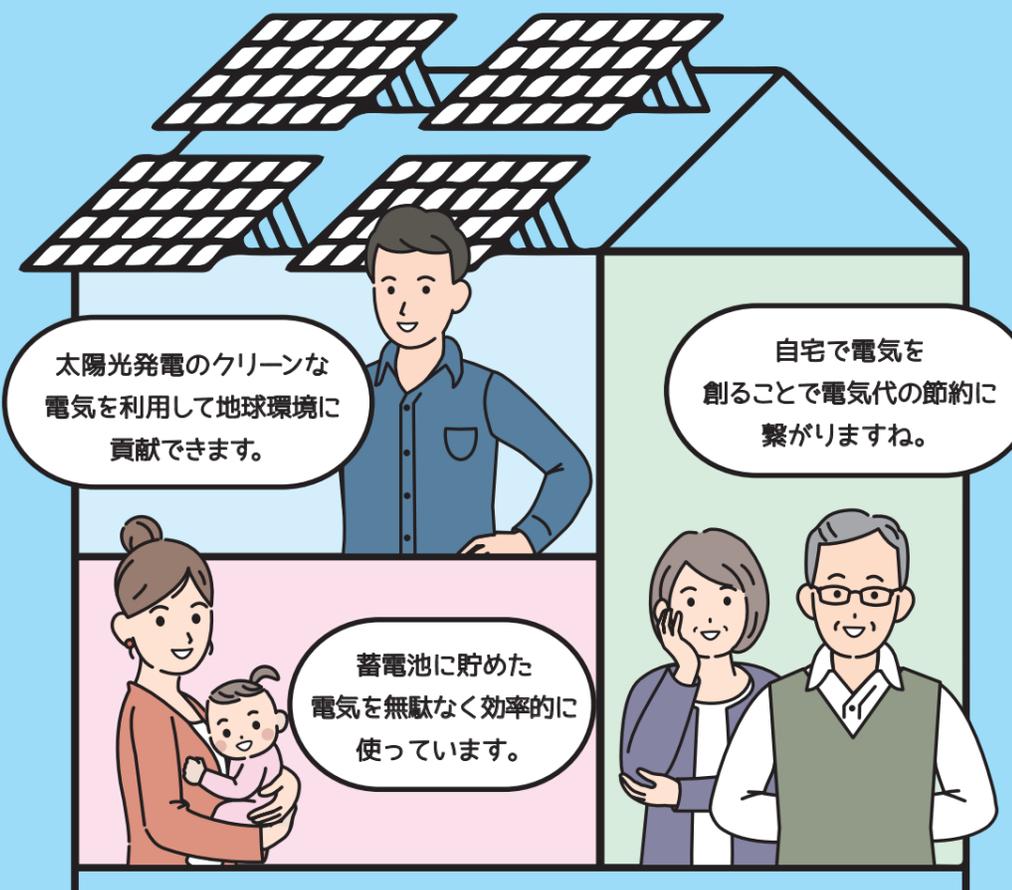
\*1: 本実証事業へのお申し込みをいただいた後、補助金申請に必要な書類等を別途ご案内いたします。

\*2: 補助金は執行団体（一般社団法人 環境共創イニシアチブ）より、事前に指定されたお客様の銀行口座へ振り込まれます。

お問い合わせのご相談は下記までご連絡ください。

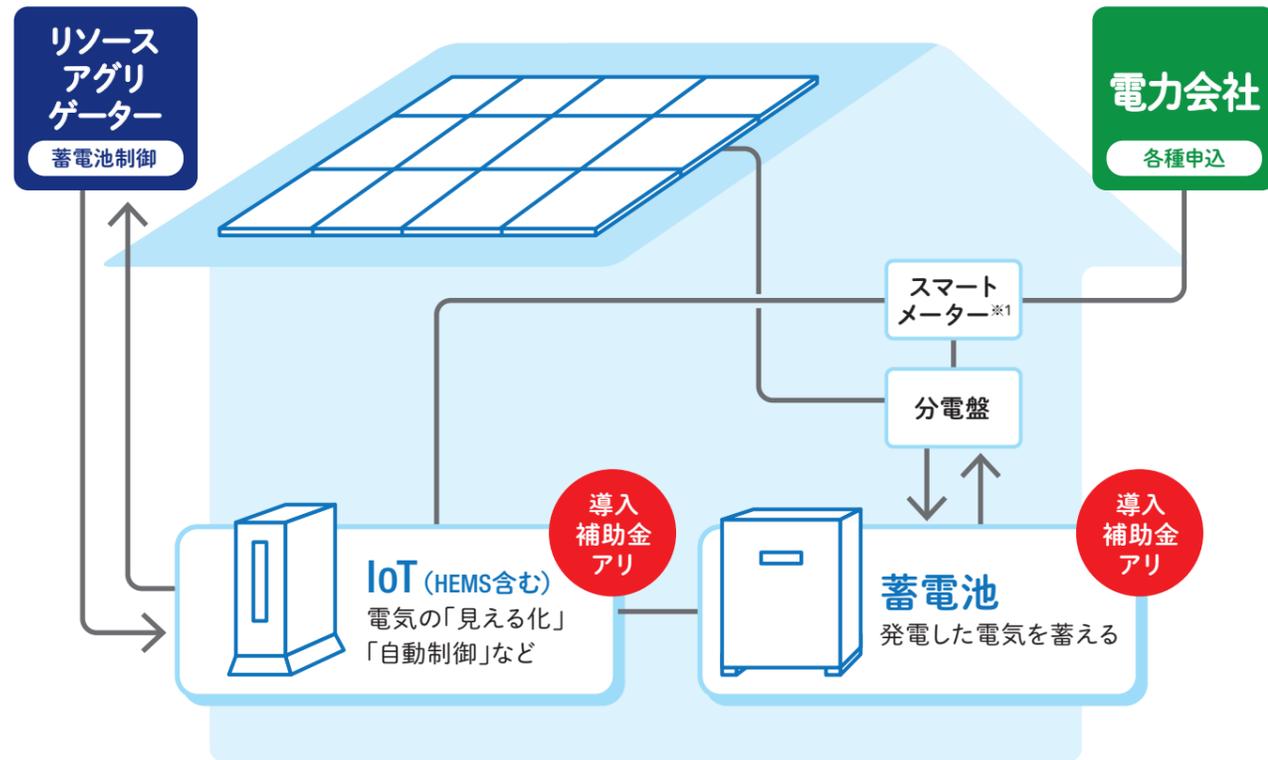
2022年4月時点では、全ての交付条件が確定していないため、今後内容が変更となる可能性があります。

## おうちで創って みんなで電気をシェアする時代へ 実証内容のご案内



# 創った電気を、 より便利に! おトクに! ステキに!

ご自宅に「太陽光パネル」「蓄電池」「IoT (HEMS含む)」をセットで設置することで、  
発電したエネルギーの活用の幅がぐっと広がります。  
さらに、「分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業」に参加することで、  
リソースアグリゲーターを介して電気の需給バランスを調整するなど社会に貢献できます。



※1: 従来の電力会社へ電力メーター情報発信サービス (Bluetoothサービス) のお申し込みが必要です。  
スマートメーターでない方は、スマートメーターへの変更が必要です。  
※電力の買取については従来のままでご参加いただけます。

せっかくなら  
もっと活用しなくては!



導入すれば  
こんなに変わる!

## 蓄電池3つのメリット

1

万一の災害時でも  
あんしん!

災害時や急な停電時にも  
バックアップ電源として  
使えるからあんしんです。

2

月々の電気代を抑え  
家計にやさしい!

電気料金の安い夜間に充電して  
昼間等に利用することで、  
おトクに電気を使えます。

3

余った電力で  
地域や社会に貢献!

電力需要のピーク時に、  
余った電力を地域で共有でき、  
社会貢献につながります。

〈経済産業省〉

## 分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業

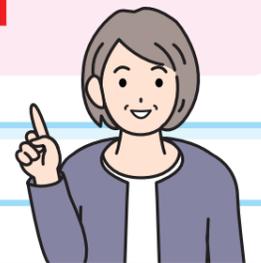
本実証事業では実施期間中に、リソースアグリゲーターがお客さまの蓄電池を制御し、  
電気の需給バランスを調整する実証を行います。  
実証を通して再生可能エネルギーの普及・拡大や、将来のエネルギー社会の高度化に貢献していきます。

### 実証事業参加お申し込み期間

2022年6月1日~12月23日AM

※募集期間内であっても、実証事業の補助金上限額に達した場合には締切とします。

おトクに社会貢献  
できるなんて!



### 実証事業参加条件

参加条件①  
戸建てにお住まいの方

参加条件②  
沖縄と離島を除くエリアにお住まいの方

参加条件③  
本実証事業に同意していただける方

参加条件④  
継続して蓄電池・IoTを運用できる方  
※補助金対象機器となるため、財産処分により補助金の一部返還を  
求められる可能性があります。

## ⇒対象機器のご購入には国から「補助金」が支給されます。

※補助金額は購入された蓄電池の初期実効容量ごとに異なります。詳細は販売店にお問い合わせください。

◎支給例 (蓄電池の初期実効容量が8kWhで、IoTの機器本体と工事費が25万円以下の場合)

《蓄電池》



最大29.6万円

機器本体+工事費・  
据付費の1/3以内  
補助金上限額は29.6万円  
(初期実効容量8kWh×3.7万円)

《IoT》



最大5万円

機器本体+工事費・  
据付費の1/2以内  
補助金上限額は5万円

補助金最大  
34.6万円

はじめるなら  
今がイって  
ことね!

